阿弥陀寺（あみだじ）だより

2020年 1月 1日　第 43号

金剛山 阿弥陀寺
発行人　大谷 義文
〒 861−2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916
TEL (096) 289−0424　FAX (096) 297−9161
amidaji@jcom.zaq.ne.jp
ホームページ　金剛山 阿弥陀寺　検索
郵便振替:01710-8-68921　加入者名：阿弥陀寺事務所

高座布教（大阪 中井賢隆 師）

恭賀新年

阿弥陀寺建立（益城町）10周年記念法要を勤修します。

9月27日（日）午後1時

遠きみやこへ かへらばや

大谷 義文

近頃、ふとしたことで祖母を懐憶する。さては、古老の域か。53歳を迎えるのでそうかもしれない。

祖母の名は、初枝。

玄関を開けると、目の前が祖母の家。そこで叔母とふたりで暮らしていた。保育園の送り迎えをしてもらい、ご飯もお風呂も一緒だった。

祖母は、猫が好きだった。縁側に水が入った小皿を置き、その横に煮干しを散らすと、垣根のすき間から数匹の猫が顔を出した。庭の小さな菜園は、時季になるとイチゴが実った。甘そうに見えるのだが実はすごくすっぱくて、祖母に砂糖をたくさんねだった。

私は、よくひとりで遊んでいた。何をしていたのだろう。思い出した、新聞を幾重にも丸め、刀を作るのが好きだった。途中、「糊をくれ」と頼むと、祖母は冷ご飯を少々つかみ練り込んでくれた。接着力はあった。そして完成した刀をわきに差し、遊んでいた。

幼い私が成りきるのは、座頭市、眠狂四郎、鶴田浩二。どの役者も祖母のひいきだ。

ご飯が炊けると、筆筒の上に置かれた小さな仏壇にお供えをして、リンを鳴らす。家の仏壇と違い、立ったままでお参りができるので、祖母の仏壇の方が好きだった。

時は令和2年。

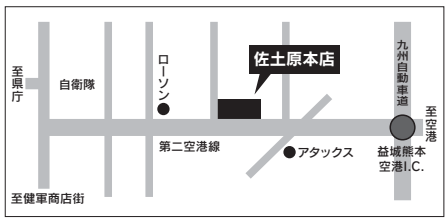
イチゴの甘味は抜群。垣根は皆無。新聞はデジタル化。糊の接着力は強烈。座頭市は、セリフに問題があるという。

かたはらに
　秋ぐさの花
　かたるらく
　ほろびしものは
　なつかしきかな

ふと、祖母の声がした。

うなぎ・川魚料理
かわ専

佐土原本店
熊本市東区佐土原1-12-1（佐土原バス停前）
電話 096-360-8488
営業時間
昼／11:00〜15:30（オーダーストップ15:00）
夜／17:00〜21:30（オーダーストップ21:00）
定休日／毎週火曜日（祝日の場合翌日振替）
7・8月、12・1月は不定休



http://www.kawasen.jp/

東京タワーも我も還暦 年新た

寺子屋「語りの秋」

11月3日、寺子屋「語りの秋」が催された。

浪曲の演目は『天保水滸伝』。笹川繁蔵、飯岡助五郎の確執を語る。序盤、笑いに包まれた軽快な語りから、シリアスな終盤へと展開していく。そして最高潮の唸りへ。

つづいて紙芝居。哀愁漂う昭和の物語「愛染かつら」。看護婦・かつ枝と医院長・浩三のラブストーリー。ふたりのすれ違いも携帯電話さえあれば、と思ってしまう。

『夢十夜』第3夜。安田先生の語りに、奈々福さんの三味線が響く。声が折り重なり、雨の降りしきる夜道をさまよっているようだ。

秋の唱歌。『荒城の月』『里の秋』『故郷』『もみじ』『旅愁』。深まる秋の景色に思いを馳せる。

玉川奈々福師はCDデビュー。曲も披露され大いに盛り上がった。

秋彼岸会

9月22日、秋彼岸会法要が勤まった。琵琶奏者、塩高和之さんの「風の宴」が美しい。風がかすかに生まれ、吹き荒ぶ嵐へ、そして静かに無にかえる。

安田登先生と佐藤蕗子さんが加わり『耳なし芳一』。芳一と、彼にとりついた平家の亡霊の物語。琵琶を弾く芳一と、対峙する亡霊が目に浮かぶ。

そして『ボンボヤージュ』。蕗子さんの独り語りに安田師のピアノ。純粋な少女が、悪い男に振り回され、身を持ち崩していく。恨みながらも、相手を見捨てることのできない哀しい恋愛物語。

最後に秋の唱歌を歌う。

『肥後山中膝栗毛』

釋 智明（川村 智明）第7回

夏から秋にかけては、窓拭き掃除で、悪戦苦闘が続き、頭を悩ませます。

この時期は、台風を含め暴風雨が多く、さらに風向きによっては、阿蘇山の噴煙で汚れるからです。窓拭きをされている方々に同情いたします。

私は、ワイパー、洗剤、専用シート等々、何種類も試しました。先日は、コンタクトレンズの洗浄液がいいと耳にし試しました。汚れは楽に落とせますが、拭き終えた後がどうもよくありません。そして「やっぱりか」と失望するのです。

よし、原点回帰だ。やはり、最も体力を要する水拭き、新聞紙でから拭きを繰り返すことが、一番きれいになることに気づきました。たくさんの窓とにらめっこをしながら、「急がば回れとは、そのとおりだな」と思わされたことでした。

『御修行 奮闘記』

釋 博真（栃原 真人）第28回

法話会では、15分ほどお話をさせていただきました。文字にして、時間を計って練習。しかし本番になると、覚えたはずの話がうまく出ずにしどろもどろに。知識のなさと経験不足を痛感しています。自ら話すことで、これまでお寺でお話されてきた方々の努力の深さを学びました。そして、隠れた努力の部分を見ずに「今日の話は面白かったですね」などと、感想を言っていた私に気づきました。

思えば、すべてに対して「これはためになる。これはつまらない」と評価してきました。作者が伝えたかったこと、作品が表現したかったことの、本当の深い部分を理解できている保証はないのにもかかわらず。

先日、小さなお孫さまを亡くされたおばあさんとお話したときです。「私も娘がいるのですが、ご両親は大変、辛かったでしょうね」と言うと「それは本人じゃないと絶対にわからん」と言われました。私にもわかります、というのは思い上がった考えでした。

わかってない、ということがわかっていない私を知らされました。

オフビート off・beat ♬

総代のつぶやき 31

皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思います。どうぞお付き合いお願いします。

時は、1964年2月。真冬のベルリン。フィルハーモニック・ステージの幕は開いた。隣にいるマイルスが目で合図し、私のトランペットの演奏が始まった。ものすごいスピードとドライブ感で吹きまくる。後から追い立てるように高速ドラムを叩く弱冠19歳のトニー・ウィリアムス。

ピアノを叩きつけるように不思議な音階を繰り出すハービーハンコック。強力なリズムでサポートするベースのロンカーター。そして他のメンバーに触発されフリーっぽいテナーサックスのウェイン・ショーター。ステージの脇でメンバーの演奏に耳を傾け、にやりと不敵な笑みを浮かべるマイルス。吹きまくれ、お前の自由なように、渾身の力を振り絞って。明日はない、あるのは今この瞬間の音だけだ！

そして演奏は終わった。鳴り止まない拍手と喝采。私は真に幸福の絶頂にいた。これぞジャズの命だ。

すると、突然ガチャッと音がする。徳利がひっくり返った音だ。はっと我に返り、目が覚める。

今しがたのマイルスとの競演は一体何だったのか。酔って夢幻を見ていた私。それにしても正月から何と素敵な初夢をありがとう。南無阿弥陀仏！南無阿弥陀仏！また次回！

歳・（杉本 典代）楓組

東京タワーと時を同じくして、私もこの世に生を受けました。あれから六十年、昭和、平成、令和と生き、いろいろな事がありました。

もちろん地震も…。

令和になって初めてのお正月。今年も、日常のささやかな事や物の感動を「五七五」に詠んでいきたいと思います。

生書道教室
指導者　生　春翠・勝弘
〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10　電話 096-369-1138

成人部
漢字／臨書／かな／ペン／
くらしの書（実用書道）
生徒部
幼児・小中学生
各学年（毛筆・硬筆）

阿弥陀寺　様でのお葬式
ファミリープラン
（家族・親族の安心プラン）
他のプランもございます。
30万円より
以下の内容が含まれます。
御棺一式　納骨一式　霊柩搬送　ドライアイス　遺影写真　生花祭壇
含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方
想送の木山葬儀社
お問い合わせは！（24時間）
益城町宮園547-3　096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール　info@kiyamasougi.com

報恩講 ご案内

報恩講は、親鸞聖人のご法事です。

日時・1月12日（日曜日）
12時00分～ お斎（軽いお食事） 1時00分～ 読経
1時30分～ 法話2席～3時00分終了
法話・木村 俊尚 師（新潟・梵行寺 住職）
講題・「人生の伴侶」
3時10分～ おはなしと紙切り～4時00分終了
おはなしと紙切り・
柳家 松太郎 師（東京・紙切り師）

※終了後、懇親会。参加費・1000円（1人）

春季 差向け布教

納骨堂 追弔法要
永代経 法要
日時・2月24日（月曜日）
午後1時30分 お勤め（読経）
2時00分～ 法話2席～3時30分終了
法話・中井 賢隆 師（本山布教使）
大阪（豊中市） 最勝寺 住職

※ 京都、本山佛光寺から差向けられました布教使によるご法話です。
平日ではございますが、お参りお待ち申し上げます。
納骨堂加入者に限らずどなた様も、お参り、聴聞、参加いただけます。

猫伏石の声

令和2年 法要 寺子屋 予定

○報恩講
1月12日（日）12時～お斎
法話 木村 俊尚 師（新潟・梵行寺 住職）

○差向け布教
2月24日（月）13時30分
法話 中井 賢隆 師（大阪・最勝寺 住職）

○春彼岸会
3月22日（日）13時30分
「精神科医と能楽師と読む『観無量寿経』」
安田登 師（能楽師）
大島淑夫師（精神科医）

○復興の木プロジェクト
3月28日（土）14時～
「出会いの村」の皆さま
芳賀 健太さん（画家）

○寺子屋
5月17日（日）14時～
安田登 師（能楽師）
塩高和之師（琵琶奏者）

○法話の会
6月14日（日）14時～
法話 川村 智明
栃原 真人
大谷 義文

○おばけ合宿
8月16日（日）～18日（火）（2泊3日）
講師 安田登 師
槻宅聡 師
東雅夫 師

○秋彼岸会
阿弥陀寺 10周年 記念法要
9月27日（日）13時～
記念法話リレー
布教使 はが みちこ 師（岡山・正覚寺）
中井 賢隆 師（大阪・最勝寺）
大谷 義博（阿弥陀寺）
歌 ポヤポヤ

○法話の会
10月25日（日）14時～
法話 川村 智明
栃原 真人
大谷 義文

○寺子屋「語りの秋」
11月3日（火）14時～
安田登 師（能楽師）
玉川奈々福師（浪曲師）
沢村豊子師（曲師）

○寺子屋「歳暮の会」
12月20日（日）14時～
安田登 師
豪華ゲストの方々

葬儀・祭壇 熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社
水前寺斎場
熊本市中央区国府１丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社
しみず会館
熊本市北区清水新地７丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭
豊住葬祭斎場
熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848